

太秦病院における臨床研究に関する情報公開（オプトアウト）について

当院では、京都先端科学大学研究倫理委員会で承認された下記の臨床研究に協力をしております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

なお、協力いただかない場合でも患者様に不利益は一切ございません。

【研究課題名】

太秦病院聞く・話す・飲み込みセンター症例データベースを用いた外来言語聴覚療法の臨床的検討

【主な研究機関】

太秦病院、京都先端科学大学 健康医療学部

【研究責任者】

京都先端科学大学 健康医療学部 教授 楯谷智子

【研究の目的】

外来診療における言語聴覚療法の臨床的有効性や実施状況を明らかにし、診療の質向上および制度的基盤の整備に寄与することを目的としています。

【研究の方法】

2018 年 4 月から 2028 年 3 月までに太秦病院音声言語外来を受診された患者様の診療情報を匿名化したうえで、後方視的に分析します。個人を特定できる情報（氏名・住所など）は研究には使用せず、研究成果は学会・論文等で公表されますが、個人が特定されることは一切ありません。

【研究の対象となる方】

2018 年 4 月から 2028 年 3 月までに太秦病院「聞く・話す・飲み込みセンター（音声言語外来）」を初診された患者様

【個人情報の取扱い】

収集された情報は匿名化され、対応表とともに厳重に管理されます。外部に提供されることはありません。なお、研究期間終了後に追跡調査をおこなう可能性があります。

【研究への協力を希望されない場合】

この研究にご自身の診療情報を使用されることを希望されない方は、以下の連絡先までお知らせください。その場合でも、通常の診療において不利益を被ることは一切ありません。

【連絡先】

京都先端科学大学 健康医療学部 教授 楯谷智子

メールアドレス：tateya.tomoko@kuas.ac.jp

ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。